



毛呂山町マスコットキャラクター
もろ丸くん

議会だより

発行/毛呂山町議会
編集/毛呂山町議会だより編集委員会

MOROYAMA ASSEMBLY NEWS

もろやま

〒350-0493 埼玉県入間郡毛呂山町中央2丁目1番地 TEL 049-295-2112 URL <http://www.town.moroyama.saitama.jp/kakuka/gikai/>



12月の定例会

年頭のあいさつ	2P
条例の改正・補正予算等	3P
条例の制定	4P
請願	5P
議案の審議結果・全員協議会	6~7P
一般質問 8名	7~11P
人事・議会の動き	12P

平成26年2月1日発行

第 83 号

議会だよりは議員の自主編集により発行し、この用紙は再生紙を使用しております。

謹んで新春のお慶びを申し上げます

新年おめでとうございます。町民の皆様におかれましては輝かしい新春をお迎えることと存じます。

さて、昨年は国政では参議院議員の選挙により衆・参の振れが解消、政権が安定したかのように伺えますが今年には消費税が8%になり国民の日々の生活、暮しに大きな影響が出るのではと懸念されている折、26年税制改正大綱では、今や生



議長

下田 一甫

年頭のごあいさつ

活の足である軽自動車税もセツトで盛り込まれ不安な昨今ですがアベノミクス効果が出るのが今年の後半からと予想されている事から期待するところです。

町では川角中学校校生の修学旅行時の善行、ゆずの里保育園の開園、水泳世界選手権で町内在住の瀬戸さんが金メダルを獲得、毛呂山中学生3名が越生線踏切内の人命救助等の話題が多くありましたが高齢化が増々進むとともに厳しい財政状況の中、今後町の発展と住民の安寧、未来を担う子ども達の教育環境の早期整備など町政運営手腕が増々問われて来るのではないのでしょうか。

私たち議員も住民の直接選挙で選ばれた住民全体の代表者です。その職責を果たすため最大限の努力をして参りますので今年も宜しくお願い申し上げます。

結びに町民皆様の弥栄と御壮健で有らせられるよう祈念し、年頭のごあいさつといたします。

12月議会 定例会

平成25年12月定例会は、12月2日から10日までの9日間の会期で開催されました。

今期定例会に提案された案件は、条例の制定2件、条例の一部改正4件、補正予算3件、基本協定の一部変更1件、損害賠償額の決定1件、諮問1件、請願1件、議員発議1件合計14件が上程され、慎重なる審議をいたしました。なお、今議会における一般質問は、8名が登壇し、活発な質問が展開されました。



議員全員 議場にて

今年も町政発展のため頑張って参ります

条例の改正など

毛呂山町災害派遣手当等の支給に関する条例の一部を改正する条例

理由 大規模災害からの復興に関する法律の公布に伴うもの
(全員賛成可決)

毛呂山町水道事業給水条例の一部を改正する条例

理由 消費税法の改正に伴い、水道料金及び加入金の額を定めた条例を一部改正
消費税率改正に比例し、4月1日より水道料金が変わります。
(賛成多数可決)

毛呂山町農業集落排水処理施設の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例

理由 消費税法の改正に伴うもの
(賛成多数可決)

武州長瀬駅自由通路及び橋上駅舎整備工事の施行に関する基本協定の一部を変更する協定

(賛成多数可決)

毛呂山町営住宅管理条例の一部を改正する条例

理由 地方税法の一部が改正されたことに伴うものであり、延滞金の割合等の条例を定めるもの
(全員賛成可決)

損害賠償の額の決定

理由 東京電力(株)より、平成24年度放射能対策として実施した学校給食等の検査に要した費用額
(全員賛成可決)

補正予算

一般会計(第4号)

歳入歳出それぞれ1億537万3千円を追加し、予算総額を9億4711万8千円としました。
(全員賛成可決)

○主な内容

・福祉会館耐震補強工事
補正額は1億912万8千円
耐震工事を行い、今後町民の方々に安心・安全に福祉会館をご利用いただくものです。

・電気自動車用急速充電器
設備工事(役場敷地内)
補正額は767万6千円
次世代自動車充電インフラ整備を行います。この事業は、国から511万6千円の補助があります。

・保育システム変更委託料
補正額は163万8千円
平成27年度より新制度に変更となるための、システム変更等準備を行います。

○主な内容
補助金交付申請額に対し実績額との差額が生じた為、補助金額超過分を返還するものです。
(全員賛成可決)



・松貫橋側道橋設置工事
補正額は4826万円の減額
東日本大震災の復興工事に伴い、資材及び技術者の不足により、入札不調となり当年度工事を見送った為工事費の全額を減じました。

○主な内容
職員の手当及び法定福利費の減額補正です。
(全員賛成可決)

水道事業会計(第2号)

補正額は285万8千円の減額

国民健康保険特別会計(第2号)

国への高齢者医療制度円滑運営事業補助金返還金を12万円追加し、予備費を12万円減額しました。

【条例の制定】

生活福祉常任委員会に付託

条例の制定の審議については、生活福祉常任委員会に付託されました。

本会議では討論があり、毛呂山町空き家等の適正管理に関する条例については賛成多数可決。毛呂山町電気自動車用充電設備の設置に関する条例については全員賛成にて可決となりました。

毛呂山町空き家等の適正管理に関する条例

この条例は、空き家等が放置され、管理不全な状態のまま放置されることを防止することにより、生活環境の保全及び防犯のまちづくりの推進に寄与することを目的とする。平成26年4月1日から施行

委員会で質疑された主な内容

問 空き家等の実態調査を行うことができるかあるが立ち入りを行うようになると思うがそういう文言が入っていないが、不法侵入にはならないのか。

答 あくまでも外観での調査を行うもので、国で強制代執行を行う場合は、立ち入りが発生することになる。

問 空き家と認定したら現地に表示物は考えているか。

答 認定時には、表示は考えておらず、公表に至った場合に表示する。

問 問題は所有権が不明な空き家は危険であるし、住民の迷惑に繋がる。それらを調査・処理するのは、この条例では出来ない。住民サイドからの情報提供が、今後主軸にな

っていくのか。

答 町民の方からの情報提供を吸収する中で動きたい。

問 本人の同意が得られない限り代執行になり費用もかかる。顧問弁護士に相談し、条例の改正を願う。

答 管理不能な空き家にならないよう状況を防ぐための条例で、管理不能な状態になったものは、国等で対策を検討している。

〔賛成討論〕

岡野勉議員

最近、本町でも「空き家」が身近で目立ち始めています。空き家は放火やごみの不法投棄の対象となったり、犯罪に利用されたりするケースもあります。また、倒壊や破損箇所の飛散などにより近隣住宅に危険が及ぶことも考えられます。

以前、空き家の対策に迫られ、役場との協議、地権者への「指導及び勧告」となりましたが望ましい効果に至りませんでした。今回の条例の制定で、条文の内容など万全と

は言い切れませんが、「空き家」を持つ地権者への維持・管理（活用）に対する自覚を促すものと考え、賛成と致します。

毛呂山町電気自動車用充電設備の設置に関する条例

この条例は、電気自動車用充電設備の設置について必要な事項を定めるものとする。平成26年4月1日から施行

委員会で質疑された主な内容

問 使用料を1回30分300円を徴収するようですが、周りの自治体が無料なのに町で300円を徴収して利用されると思うか。

答 町では、近隣自治体とは違い課金装置を設置するので24時間利用できる。

問 24時間営業するのにセキュリティに対する問題が考慮されていない。今の時代、当然安心安全の担保が必要ではないか。また2台分の貴重な駐車を占有されるより駐場の一部を削れば1台分確保できるのでは。

答 自動販売機的な機械で盗

難があれば当然その可能性もあり、夜間運用した場合には事故等の恐れもある。その緊急の場合に対処をどのようにするのか又、運用上の課題はいろいろ出てくる。現時点では守衛が24時間待機しているのが対応可能。尚、今現在、駐輪場はかなり不足している状態です。電気配線の関係上道路に面した北側に設置ということでのこのような位置になった訳です。

※委員会としての要望

貴重な駐車を確保するための設置場所の計画変更とセキュリティに対する問題が考慮されていない点を踏まえて設置を進めて頂きたい。



電気自動車用充電設備設置場所

【 請 願 】

総務文教常任委員会に付託

新聞への消費税軽減税率適用を求める意見書の提出について

【提出者】 さいたま市浦和区東高砂町21-1 埼玉県新聞販売組合
組合長 市川 謙司 ほか7名

【紹介議員】 堀江 快治

請願の趣旨

私たちは、新聞をふくむ文字文化は、米・水などとともに日本の国を形作ってきた基礎的財と考えます。新聞は国内外の多様な情報を、その戸別配達網により埼玉県下へ、全国へ、日々ほぼ同じ時刻に届けることで、国民の知る権利と議会制民主主義を下から支え、あわせて文字文化興隆の中軸の役割りを果たし続けています。

国土も狭く資源も少ないわが国が世界有数の先進国となったのは、伝統的な勤勉性ととともに、新聞の普及と識字率の高さが、学力・技術力を支える役割りを大きく果たしてきたことは広く認められるところです。

欧米の例を見ても、大半の先進国が新聞への軽減税率措置を執っている所以です。

近年、活字離れが進むなかで、書籍とともに新聞も購読率の低下傾向にあり、新聞をまったく知らないで育つ子どもが増えるなど、次の世代の知的水準へ深刻な影響を及ぼすものと深く憂慮されています。加えて今回の消費税率引上げにより、新聞離れが格段と加速される恐れがあると危惧します。

よって消費税率が8%、10%いずれの段階でも新聞への軽減税率を導入されることは、極めて肝要な施策と考え、下記について、地方自治法第99条の規定にもとづき国への意見書を提出していただきたいと願ひ、請願いたします。

藤岡 健司 議員

4月からの消費税の増税は、税率を8%に上げるだけでも8兆円の増税、年金削減など社会保障の負担増・給付減を合わせれば10兆円もの負担増であります。政府は、「経済再生と財政再建の両立をはかる」と言っていますが、国民の暮らしにはかりしれない深刻な打撃をもたらし、経済も財政も共倒れの破綻に追い込まれることは明らかではないでしょうか。私は消費税に反対をしておりますので、新聞への消費税軽減税率適用には、反対を致します。

弓田 茂樹 議員

適用範囲を巡っては、巨大な利権が発生し、政治家や官僚が業界と結託することに、大きな問題が発生することへの懸念があります。

町民の皆様に対し、不透明なものを、公正公平な立場において審議審査を行うのが議会であります。ある一つの業界だけを特視しようとするこの請願には公正公平の観点より、不透明さが残ると感じざるを得ません。

また、今後同様の請願が他の業界団体より提出された場合の判断には、公平公正の審査に大変苦慮することが想定されます。

今この請願を採択するには、時期尚早と考えます。

岡野 勉 議員

そもそも、消費税率引き上げ（5⇒8%）に大反対。この15年で国民の平均所得は446万円から377万円と約70万円、率にして15%も減り続けている。町民の生活破壊の実態は質量とも低下の一途をたどっている。

今後も非正規雇用など不安定雇用の広がりが危惧され、「格差と貧困」を助長する消費税率の引き上げは反対です。本請願は、1部門1団体ではありますが消費税率の引き上げに対し「新聞の公共性、民主主義を支える新聞の役割」を踏まえた上で、消費税率の軽減を訴えるものです。できれば、全体の軽減税率を望むが訴えの主旨に同意し、賛成とする。

(賛成多数採択)

反 対 討 論

賛 成 討 論

発議第2号 新聞への消費税軽減税率適用を求める意見書の提出について

(賛成多数可決)

●議案の審議結果(12月定例会)

○は賛成 ×は反対 退は退席 討は討論 議は議長

議 案		議 員 名														審議結果		
		弓田茂樹	佐藤秀樹	荒木かおる	千葉三津子	村田忠次郎	宮寺征二	藤岡健司	岡野勉	小峰明雄	高橋達夫	長瀬衛	岡部和雄	堀江快治	下田一甫			
70	毛呂山町空き家等の適正管理に関する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	可決
71	毛呂山町電気自動車用充電設備の設置に関する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	可決
72	毛呂山町災害派遣手当等の支給に関する条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	可決
73	毛呂山町農業集落排水処理施設の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	可決
74	毛呂山町営住宅管理条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	可決
75	毛呂山町水道事業給水条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	可決
76	平成25年度毛呂山町一般会計補正予算(第4号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	可決
77	平成25年度毛呂山町国民健康保険特別会計補正予算(第2号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	可決
78	平成25年度毛呂山町水道事業会計補正予算(第2号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	可決
79	武州長瀬駅自由通路及び橋上駅舎整備工事の施行に関する基本協定の一部を変更する協定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	可決
80	損害賠償の額の決定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	可決
諮問2	人権擁護委員候補者の推薦について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	適任
請願1	新聞への消費税軽減税率適用を求める意見書の提出について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	採択
発議2	新聞への消費税軽減税率適用を求める意見書の提出について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	可決

いっぱん質問

質問と答弁の内容を要約してお知らせします。

質問議員と質問事項

小峰明雄 議員	①教育・子育て環境の充実 ②遊休農地
村田忠次郎議員	①選挙公約の進捗状況 ②企業誘致
千葉三津子議員	①納税率向上への取り組み ②がん教育の取り組み ③脳ドック検診
佐藤秀樹 議員	①川角駅周辺対策 ②空き家問題 ③毛呂山町の長期ビジョン
荒木かおる議員	①防災 ②毛呂山小中学校将来構想検討委員会 ③自治体が管理する公園の遊具 ④救急医療キット
岡野 勉 議員	①タウンミーティングと出前講座 ②越辺川 川のまるごと再生プロジェクト
岡部和雄 議員	①現在の町制運営は町民の期待に沿っているか
藤岡健司 議員	①税金の徴収 ②自然災害の対応 ③消費税の増税分の事業展開と町の動向

※内容については、各人の原稿をもとに、質問順に掲載いたしました。質問順は抽選により決定されます。

全員協議会

11月25日全員協議会が開催され、町より次の協議内容が報告されました。

【協議内容】

○行政区の区割り変更について

現在、1行政区として運営している目白台自治会が、世帯数増加に伴い、平成26年4月1日より、3行政区に分かれ、毛呂山町の行政区数は現行67から69となります。

○職員の再任用について

雇用と年金の接続に関する国の要請を踏まえ、平成26年度から再任用制度の運用を、今年度退職者より開始します。

○議員報酬の住民税特別徴収について

納付方法が普通徴収から特別徴収へ変更となります。

○中学校空調方式比較検討について

電気、ガス、エコアイスのうち、熱源方式の比較を環境面、空調性能、コスト等、検討の結果、ガス方式による空調設備の導入を考えています。

○町内循環バスの方針について

現在、地域公共交通活性化協議会において、検討されている、町内循環バスの運行方針の中間報告が行われました。

もろバス運行方針(案)

- ・民間委託とし、車イス乗車可能車3台で運行を計画しています。
- ・現行ルート及び増便を検討しています。
- ・利用料金は、受益者負担の考えにより、現行無料であったものが、有料化となる予定です。

○広域静苑組合への坂戸市の加入条件(案)について

坂戸市加入条件の検討(一部抜粋)

- ・加入に伴い、火葬炉を4炉増やす等、改良が必要である。
- ・施設の改修費用は坂戸市が負担する。
- ・造成・用地費等の負担について、坂戸市が組合設立時当初から加入していたと仮定した場合の試算額等を考慮する。
- ・坂戸市加入による事務経費負担増は、坂戸市が全額負担する。



暖房を鑑み、早期にエアコンの設置を

小学校の普通教室に エアコンの設置

中学校への導入後、早期整備に努める

小峰 明雄 議員

- 問** 平成26年度当初予算編成、小学校費・中学校費・幼稚園費は。
- 答** 川角中学校大規模改造工事を実施。学力向上支援員、児童生徒支援員の配置を予定。城西大学と提携した大学生インタ
- 問** シンシップ事業を考えている。不登校対策相談員の配置を予定。私立幼稚園就園奨励費補助事業等を継続して実施する予定。
- 問** 小学校未改修トイレを平成26年度中に全て改修と考えるが。
- 答** 計画的に継続していく予定。
- 問** 中学校の普通教室にエアコン

- の設置に向けた取り組みは。
- 答** 両中学校に平成26年度に設置工事を行いたいと考えている。
- 問** 平成26年度当初予算編成、通学路の安全対策は。
- 答** 通学路安全対策5ヶ年計画に基づき工事・対策を実施。
- 問** 毛呂山町青少年育成事業補助金交付要綱等の見直しは。
- 答** 現行にて支援して参りたい。
- 問** 平成26年度当初予算編成、児童福祉費・保健衛生費の内、本町の特色のある少子化対策、子育て支援対策は。
- 答** 病後児保育事業は、県内の公立の施設で実施している市町

- 村は少なく、また、町内の医療機関と連携することにより、他に比べ簡便に利用できる手続きになっており、子育てと仕事の両立支援を目指したいと考えている。市町村子ども・子育て支援事業計画の策定を予定。妊婦健康診査14回の定期的な検査に、風しん抗体検査を加え実施予定。
- 問** 農地法第30条第1項に基づき、利用状況調査を実施しておりますが、耕作放棄地化の防止・解消と地域農業の在り方は。
- 答** 農業を志す方々に、農地を集積し、農業の担い手を確保して参りたい。

町長の選挙公約の 進捗状況を伺います

概ね80%

公約実現に向けてやり尽くしたい

村田 忠次郎 議員

選挙公約の進捗状況について

問 町長就任以来2年半が経過しました。選挙公約の進捗状況について伺います。

答 概ね80%の進捗と考えています。今後は川角駅周辺整備、川越坂戸毛呂山線道路の早期開通に向けて関係機関への働きかけ、東部エリアへ企業が参入し

易い環境の整備、高齢者施策、生活環境整備等に努力します。

問 農業塾を初め、農業関係の事業は順調ですか。今後の取り組みについて伺います。

答 後期に入り順調です。塾生は生産・販売し、利用者に喜んで頂く事などを経験し、農業は

喜びの産業と感じている様です。

問 高齢者の健康作りの為に、平日、使っていないグラウンドを高齢者に無料解放出来ないか。

答 全体の均衡、平等を重視しながら良い方向に進めたい。

問 任期中に、どれだけ公約の実現をお考えですか。

答 タウンミーティング等を行い町民との信頼関係を更に深めて、協働の町づくりに向けて邁進します。公約実現に向けてやり尽くすぞという考えです。

企業誘致について

平成21年に企業誘致予定地を指定し、以来5年が経過した。

問 未だに誘致出来ない状況だが。

答 企業誘致は町の最重要課題ですので町は積極的に誘致活動を行って参ります。

問 葛貫の予定地の状況は。

答 5月に地権者から「商業施設を誘致願いたい」との要望書が提出され、政策会議等で検討中です。

問 企業誘致の実現にむけて、町は今後どのような姿勢で臨むのか。

答 雇用の創出、税収確保、町の活性化の為に、必ず誘致できるような鋭意努力して参ります。



更なる発展が期待される毛呂山町



がん教育で〈命の大切さ〉学ぶ機会を

本町の小中学校を がん教育のモデル校に！

健康教育の取り組みを さらに推進する

千葉 三津子 議員

納税率向上の取り組み

問 平成24年度県内個人市町村民税納税率一覧表では63市町村の中で毛呂山町は43位と残念な結果でした。貴重な財源となる住民税の確保は増々重要ではないでしょうか。

取り組みについて伺います。

答 休日夜間の電話催告実施、県税事務所と連携して共同催告の発送、口座振替やコンビニでの収納業務を推進しています。
問 クレジットカード収納導入のお考えはありますか。
答 町電算システムの改修に多

額の費用が掛かることが想定されるが、今後費用対効果も検証しながら検討して参ります。
がん教育の取り組み

問 子どもたちが健康的な生活習慣を身につけ、命の大切さに気づき、他者の命を尊重する心をはぐくむ事を目的とする小中学生のがんに対する教育の取り組みについて伺います。

答 今年度から埼玉医科大学地域医学・医療センターと連携し毛呂山小学校と毛呂山中学校の学習支援や授業補習で保健指導や健康教育の活動を行って参ります。今後は教育委員会としても

国や県の動向を参考にしながら検討して参ります。
問 今後のがん教育に対して教育長に伺います。

答 町の児童生徒が生涯に渡り安全安心の生活が送れるようにがん予防を含む健康教育の取り組みをさらに推進して参ります。
脳ドック検診について

問 脳ドック検診に公費助成のお考えはありますか。
答 国保運営協議会で協議し医療機関と調整して、補助対象となるように検討して参ります。
要望 一日も早い脳ドックの公費助成を願う。

毛呂山町の町づくりを ひとつ一言で言うतो！

調和のとれた町づくり

佐藤 秀樹 議員

毛呂山町の長期ビジョン

問 毛呂山町の20年、30年後をどの様な町に作り上げようと考えているか。

答 地域コミュニティを支援、育成するとともに、企業誘致による地域の発展、雇用の創出、また観光資源の発掘による観光

客の増加を図るなど、活力ある毛呂山町を実現できるように努力して参ります。

問 2020年東京オリンピックの開催がきまり、毛呂山町として相乗効果を生む対策は。

答 町単独ではなく、川越都市圏街づくり協議会を通して進め

て行く事も一案と考えてます。

問 前小沢町長と井上町長のつくりとされている町づくりに違いはあるのか。

答 誰もが安全で、安心して住み続けられるまちづくりを目指すことに違いはありません。

問 井上町長が目指す毛呂山町を一言で言うるとどんな町なのか。

答 調和のとれた町、子育てするなら毛呂山町、安心安全で余暇を楽しめる町づくりを進めて行きたいと思っています。

意見 私は医療福祉の町を目指すべきだと思う。医療福祉を掲げ、その中でスポーツ関係の充

実を図りながら医療費の軽減に繋げたり、高齢者対策、子供育成対策を図るべきと思う。

川角駅周辺対策

問 今年3月以降の進捗は。

答 若手職員で構成する川角駅周辺整備備内検討会を設置し、検討委員会からの提案によりアンケート調査を実施しているところです。

空き家問題

問 空き家条例と同時進行で再利用は考えているか。

答 先進事例を調査し協議してまいります。



町づくりの基本となる「第四次毛呂山町総合振興計画」



今後懸念される公園遊具の修繕と管理

公園遊具の修繕に対し 補助金の増額を

今後の検討課題

荒木 かおる 議員

問 自治会に設けられている公園の遊具の修繕について町としてはどのような対応をされているのか。

答 劣化の判断が必要なので町としては年1回遊具の点検を業務委託によ

り実施し、危険性が高いものについては使用を中止し、修繕が撤去を地区自治会で判断し要望があれば危険性・緊急性にに応じて町で撤去している。遊具の修繕については町の補助制度もあるので相談があつた際にはその周知もしている。

問 修繕についての町の補助は5万円ということだが補助の増額についてのお考えは。

答 今後の検討課題とさせて頂きます。

後どのように進んでいるのか進捗状況は。

答 11月7日に購入業者を決定し、現在制作作業に取り掛かっているところで15000個作製し、65歳以上の高齢者の方に配布して参りたい。配布時期については26年2月からを予定しており、広報等で配布及び利用方法を周知するとともに、単身高齢者や高齢者のみの世帯など、特に援護を必要とする高齢者等については民生委員さんの協力を得て重点的に配布を進めて参りたいと考えている。

毛呂山町でも早期に 「出前講座」の実現を！

充分、調査・検討する

岡野 勉 議員

問 タウンミーティングの意義とこれまでの動き、成果をお聞きする。また、開催を申請するに当たり、開催要件はどんなものがあるのか。

答 これまでに2つの自治会で行った。目白台と第一団地であり、出された意見は企業誘致の

実現、空き家対策、お店の出店、きれいな川の再生、高齢化対策等々。開催は今の所、行政区単位で参加者は10名以上としたい。

問 次に毛呂山町でも「出前講座」を作ってくれないか。実施して頂きたいという事です。いま町、町民は超高齢・少子

化社会を迎えて、介護、老後の生活、独居生活、防災、震災、防犯から年金・医療など不安が重くのしかかっています。そこで、行政のプロ（職員）が分かりやすく、安心・安全のアドバイスに乗り出して頂きたい。

答 現在でも充分対応している。住民の（知る権利）尊重を

問 「今もやっている」と言う答弁。しかし「出前講座」とは本質的に違う。住民の学習する「知る権利」等を尊重して頂きたい。行政は窓口を一本化して学習したい！聞きたい事項を一覧メニューにし、統一した

申請用紙を提出すれば行政は講座を実施する義務を負う講座は住民の権利なんです。現行の慣れない「職員派遣申請書」を住民が作るのは非常に不便で難儀です。

私の経験ではある課ではサークルの名簿、活動記録規約が求められ、その上でやっと応じてもらった。その意味では「出前講座」は本町の発展に是非とも必要と考えるが、早期に発足を願います。

答 近隣の自治体の状況も調査し、充分検討する。



町は出前講座で「情報提供と対話」を！



町のPRに繋がる地域の祭り

町のブランドを 大いに活用せよ

関係機関に働きかけていく

岡部 和雄 議員

問 野久保線事業は。

答 平成15年より着手し今年度全ての用地の買取を終了。来年度で完成。

総事業費は、37億7千万円。内訳は16億4千万円の国庫補助金をあてる。

問 18mの道路歩道幅の道が出来る。第一団地、

第二団地の地域が大きく変化する。町としてどんな発展を予想するのか。

答 地権者の考え方がある。

要望 商業地域になるのか住宅地域になるのか急変する地域づくりについて早急に対策を。

問 農業政策の税収効果は

答 2年間で何か変化があるか。

答 人農地プラン、中山間地域等直接支払事業、個別補償制度、農業塾等、国県の補助金で事業を進めている。税収効果は数字に表われていない。農業所得が主たる所得でない農家が大半を占めているので税収を精査することは出来ない。

危機管理意識

問 自然災害、行政運営特に一部事務組合への危機管理意識は。

答 町内の小中学校、保育園に「緊急時における危機管理マニュアル」を作成し不測の事態に備える。自然災害に対して職員一丸となって住民の生命・財産を守る。西入間広域消防組合は広域化、下水道組合は施設の老朽化など様々な課題を今後対応していく。

要望 来年3月には職員の大量退職がある。危機意識を強くもって行政運営を。

町のブランドを活かせ

問 町発表のバランスシートから読むことができる見えざる資産つまり町のブランドを活性化にもっと活かすべきだ。

答 柚子、流鏝馬、鎌北湖、箕和田湖、地域のお祭りは、今後関係機関等に積極的に働きかけ

いつ起こるかわからない 災害の対策は

日頃から災害に備えておくことが大切

藤岡 健司 議員

問 実際に発生した時の応急対策は。

答 台風や大雨による災害が発生する恐れのある場合には、町職員が役場で早めに待機体制を取り、気象庁や埼玉県からの予報や警報等の情報を的確に収集するとともに、町内を巡回パト

ロールし、災害の未然防止、早期発見に繋がる準備体制をとっている。また、いつ起こるか分からない地震等につきましては、

震度5弱の揺れが発生した場合は、

役場職員は直ちに初動体制を取ることになり、被害情報の収集

や災害に対する応急処置をとる

ことになっている。

税金の徴収について

問 担当者一人当たりの件数などの状況は。

答 地域ごとに担当者を割り振る等の担当制をとっておりませ

ん。しかしながら100万円以上の高額案件については、特別

整理事業として管理職及び納税係数名で担当し滞納の解消に努

めております。特別整理事業の件数につきましては、一人当たり約50件の事業を担当して

おります。

消費税について

問 消費税増税分の事業展開は。

答 現行では、消費税5%のうち1・18%相当分が地方交付税1%相当分が地方消費税合計2・18%相当分

が地方公共団体に配分されております。この配分率が

平成26年4月からの消費税引き上げにより8%のうち、

14%相当分が地方交付税として17%相当分が地方消費税となり合計31%相当分が

地方公共団体に配分されることとなる。ただし、現段階では平成26年度の地方財政計画が国から示されていないため、金額的には未定。



町の防災訓練

人事

人権擁護委員

人権擁護委員候補の推薦
 についての諮問は、全員異
 議なく適任であるとの答申
 がなされました。

荻野 淳子 氏
 (新任)

毛呂山町西大久保
 昭和31年7月生



表彰

【毛呂山町表彰】

特別有効表彰

在職20年以上

長瀬 衛 議員

【入間郡町村議会議長会表彰】

議長として4年以上

堀江 快治 議員

在職20年以上

高橋 達夫 議員

在職10年以上

下田 一甫 議員

藤岡 健司 議員

感謝状

堀江 快治 議員
 (前議長)

議会の動き

- 10月28日 広域静苑組合議員視察
- 30日 坂戸地区衛生組合議員研修
- 11月 1日 第82号議会だより発行
- 11月 6日 毛呂山・越生・鳩山公共下水道
 組合議員視察
- 11日 入間郡町村議会議長会
- 13日 町村議会議長会全国大会
- 19日 広域静苑組合議会全員協議会
 議会運営委員会視察
- 20日 坂戸地区衛生組合議員連絡調整会議
- 25日 議会運営委員会
 全員協議会
- 26日 議会だより編集委員広報研修会
- 12月 2日
 (第4回(12月)定例会
- 10日
- 10日 全員協議会
- 19日 議会だより編集委員会
- 1月 8日 議会だより編集委員会
- 17日 埼玉西部環境保全組合全員協議会
 議会だより編集委員会

次回定例会は3月です。



街角インタビュー

「新しい紙面に！」今号より街角インタビューが
 スタートします。これは「紙面改革」のひとつ。
 町民皆さんが登場します。



成人式で
 インタビュー

●堀口さん(女性)
 現在は東京の大田区に住

んでいます。高校時代は陸
 上部に所属。仕事は羽田空
 港のラウンジ(待合室)で働
 いています。
 夢はチーフ(責任者)にな
 ること。

●峯岸さん(男性)

●現在は調理師の学生。四
 月から就職も決まり働きま
 す。夢は「大きなウエディ
 ングケーキ」を一人で作り
 上げること。

お二人の印象に残り喜ん
 でもらえれば幸せ。

傍聴席

12月定例会傍聴者数

本会議日	傍聴者数(人)
12月 2日(月)	0
12月 3日(火)	21
12月 4日(水)	34
12月 5日(木)	0
12月10日(火)	0

あとがき



4月に消費税が、引き上げ
 になり町では、税率のアップ
 による、水道料金と農業集落
 排水の料金がアップになりま
 す。現在、日本経済は「失われ
 れた二十年」といわれる長期
 低迷が続く、勤労者世帯の所
 得も消費支出も下落していま
 す。「デフレ」「価格破壊」が
 言われている今、消費税率が
 引き上げになる、直前までの
 いわゆる駆け込み等の消費の
 アップは見込めるものの、そ
 の後の増税に伴う消費、購買
 意欲の低迷などが懸念されま
 す。消費税の増税分の動向や、
 町の地域経済に及ぼす影響や
 発展のために今後も努力して
 まいります。

(藤岡 健司)

編集委員

委員長 藤岡 健司

副委員長 岡野 勉

委員 弓田 茂樹

” 佐藤 秀樹

” 荒木かおる

” 千葉三津子

アドバイザー

(議長) 下田 一甫